

由利

立教186年 令和5年

7月号



秋田教区婦人会総会

一ヶ月間の主な歩み

六月

- 一六日 クリーンデイズURI
- 一九日 北蒲原分教会月次祭
- 二二日 大教会月次祭
- 二六日 御本部月次祭、由利婦人会
- 二七日 大教会役員当番
- 三十日 大教会役員会議

七月

- 一日 秋田教区婦人会総会
- 二日 支部婦人会
- 三日 支部例会（矢島町分）
- 五日 お願いとめ
- 七日 おさづけ取次日
- 一一日 役員会議
- 一二日 会長理事会議
- 一三日 由利分教会月次祭

今月の言葉

由利分教会長

佐々木 正明

今月の言葉は、柏木庫治教話集より抜粋いたします。

一步一步前進

中川よし先生から頂戴したもの

私は昔、天理教が好きでなかった。好きでなかったというより、嫌いであつた。その天理教の嫌いな人間が、天理教の布教師からにいをかけられて、いやいやながらついていって、今度は自分が好きになり、東京に単独布教に出て、天理教は嫌いだという人に天理教を勧め、勧めつつ嫌われもし、また好かれもしながら今日まで至つたのあるが、こういう道すがらの中で、ここだと感じた点や、それを私がどう実行していったかという点について、少し申し上げたい。天理教の話聞いて、神様のご恩が分かつて、喜んで神様のために尽

くす、そんなよいいんねんの者がそうあるはずはない。いやいやながら出す、泣き泣き出す、この辺がいねん相応というものだ。

しかし、その時は喜ぶなくても、道の理が日とともに分かるようになり、日を重ねているうちに、生涯末代喜べる理になる。また喜べるように理解される。これが心の成人というものだ。成人次第見えてくる。

そういうわけで、私も初めはいやいやであつたが、そのうち完全に惚れ込んでしまつて、今まで夢にも知らなかった、明るい世界に引き出されたという気持ちが出た。

さて、京城から東京へ出る時のことである。私は自惚れが強いとか、おめでたいというか、大きな抱負を持っていた。東京に偉い布教師がいる。なんでも中川よしという女の人で、それが東本という、素晴らしい理のある教会をやっているというところが、そのころの京城で響き渡っていた。なあに、女がやるぐらい

なら、わしが東京へ行ったら、もつとやってみせる。そう思つて、勢い込んで東京へ出た。

そのころの私は、天理教の話ほど結構なものはないと信じていた。だから、こんな結構な話だから誰でも聞いてくれるであろう、もし聞けんというやつがあれば、それは馬鹿だ。そんなことを考えていた。

ところが東京へ出てみたら、東京の人間は馬鹿ばかりであつた。こんな広い東京で、こんなにたくさん人間のいて、一人もおれの話を聞き分ける人間がない。東京の人間はなんと馬鹿ばかりだろう、なんでこれが分からんかな、不思議なくらいであつた。

そこでともかく、目標にしていた中川よし先生にお尋ねしてみようと思つたが、既に出直されていた。その伝記を読ませてもらった。そこで私が本性を出した。簡単に言えば、腰を抜かしたのである。

(次号につづく)

教会墓地

諸霊の塔改修工事完成

去る五月十五日より当教会墓地の諸霊の塔の改修工事が実施されました。昨年の当月報でお伝えしたと思いますが、去年の夏頃に二軒の御宅の御墓で、後継される子供さん方が都会の方に在住されている関係もあり、会長さんが永代供養の思いを込めてお遷しの儀式を執行させて頂き、両家の御遺骨を諸霊の塔にお遷しさせて頂きました。

そういう事もあって、諸霊の塔の納骨室が余裕のない状態となり、将来的には諸霊の塔への納骨を希望される御宅がこれからも出てくる可能性があると思われる事から、この度の同諸霊の塔の納骨室の拡張工事となったものです。



工事担当としては、当教会用木である佐々木義實さんになって頂き、手伝いとしては息子さんの友和さんと当

教会の豊島栄二さんに頑張つて頂きお陰様で十七日に工事を完了し、竣工の儀式をつとめさせて頂きました。

秋田教区婦人会総会

教祖百四十年祭折り返しの七月一日(月)、遊学舎にて婦人会総会が開催されました。

式典ののち、婦人会本部委員、仙臺支部長、加藤美菜子先生より記念講演がおこなわれました。

時代は変わっても、変わらぬ親神様の「陽気ぐらしをさせたい」との思いを受け、お道を通ってもらいたい、自分の心が変われば相手も変わる、まいた種はどこへも失われず必ず芽が出ると話され、おやさまにお喜び頂ける行いは「いいつけられた御用を喜んで素直にはいと受けさせて頂くこと」としめくられました。その後、二名のかたより感話が発表され、コツコツと実行することの大

切さを学び終了しました。

新たな門出に向かって、近藤正徳君、宮澤侑希さん結婚お披露目会開催

去る六月二十九日午後六時より、北洋大教会長次男、近藤正徳君、宮澤侑希(ゆうき)さん結婚お披露目会が開催されました。

お二人の出会い、高校時代同じく天理教校学園マーチング・バンドクラブだったそうで、それから長い間愛を育んでこの度の結婚となったそうです。花嫁の宮澤侑希さんは、本島大教会所属ですが、同じく新潟県出身で、家は新潟空港近くで食堂を経営されている



と共に天理教の布教所もされている御宅なそうです。現代的なスマートな美人さんで、とてもお似合いのカップルでした。

神 殿 講 話 小 川 道 子 理 事

開扉・献饌の男子の方は**十時**まで、女子の方は、**十時二十分**までおつとめ着を着用し、神殿にご集合下さい。

大教会の若先生の参拝をいただきまして月次祭勤めました。